

陳情番号：陳情第5号

案 件 名：子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

議員氏名：渡辺 訓任

討論内容：

私は、陳情第5号に対して、委員長報告に賛成、採択の立場で討論します。

陳情者が示した当町における不登校児童生徒の増加には本当に心が痛みます。全国でも、この10年間、不登校の児童生徒は3倍になったとされています。様々な要因が指摘されますが、やはりほかの先進国と同様に、小規模クラスでの指導が求められていると認識しています。根っこのところは、陳情者の指摘するとおり、先生の配置を増やすことです。

国レベルの文教予算は、今年度、額面上は1.4%増加していますが、これは、物価上昇率を2.7%と見込むと、実質の減額であります。10年間さほど変わってこなかった。子どもが減るから少人数学級にしても先生は増やさなくてもよいということではなくて、教育に関連しては積極的な支出が必要ではないでしょうか。当町でも今年度の当初予算で、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなど、教育支援に当たる予算を増額していると認識しています。

学校給食の無償化についても、政府が義務教育の範疇であると過去答弁していた内容が近年再度確認されています。このことも、自治体ごとにばらばらではなくて、国が責任を持って急いで進める必要があると考えます。

陳情者の求める教職員の定数の改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充は、広く私たち町民の願いと合致すると考え、意見書についても賛成をいたします。以上、討論いたします。